

# ERL推進室報告

ERL検討会 2010年7月27日 河田 洋

- ISAC(6月15-16日)でのコメント
- AOFSTR
- 産総研との研究協定
- その他

# ISACでのコメント (6月15-16日)

## コンパクトERLに関しては

- その建設と運転に向けてできる限りの努力を払って前に進めることは技術的にも戦略的にも非常に重要。
- コンパクトERLの建設プロジェクトが成功することは、将来のKEKそして世界のERLの発展において非常に重要なマイルストーン。
- PF-ISACはコンパクトERLの鍵となる加速器要素技術: 高輝度電子銃、レーザーシステム、超伝導空洞、ヘリウム冷凍設備において重要な技術的な進展がみられた。

## cERL/KEK-X/ERLの将来構想の進め方に関して、特にERLに関係するところに関しては、

- コンパクトERLのR&Dから5GeVクラスのERLの実現までに長い期間を要することに関して、PFとKEKのマネージメントはこのギャップを埋める手立てを実現するように強く勧める。

また2月末に行われたISACの光源加速器に関する報告書は以下のサイトに公開。

(<http://pfwww.kek.jp/ISAC09Feb/LSSubcommitteeereport.pdf>)

# AOFSRR

- アジアオセアニアフォーラム (AOFSRR) が7月6-9日にPLSで開催され、KEKの梅森健成氏がERLプロジェクトの現状報告 (Status of the Compact ERL Project in Japan) の招待講演を行った。

PLSではPLSのアップグレード計画PLSIIが現在進行しているが、さらに10GeVのXFEL計画を提案しており、SASE-FELをベースにしたXFEL計画が現実のものとなってきていることを強く印象付けるプログラムとなっていた。

その中でKwang-Je Kim氏 (APS/ANL) がその更なる進化形である共振器型XFEL (XFEL-O) の内容を基調講演し、KEK-JAEAのERL計画がこのXFEL-Oも射程に入れた計画であることを紹介していた。

# 産総研との研究協定

- 産総研と加速器技術を中心とした研究協定を締結した。

## その他

- 9月5日に一般公開
- 展示ブースは2号館中会議室を予定